

# 令和2年度第3回岡崎市障がい者自立支援協議会会議録

日時 令和2年10月20日（火）

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議により開催）

議題 (1) 第5次障がい者基本計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画素案について

議事録署名者 高橋美絵委員、佐藤健哉委員

議事要旨

## 1 議題

(1) 第5次障がい者基本計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画素案について

委員意見は別紙のとおり

第5次障がい者基本計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画素案(R2.10)に対する意見

NO		意見	
共通	1	三浦(博)	既存の各種計画の振り返り、評価はどのような結果になっているか。その結果が議題の計画素案に反映されているのか。
	2	安井	計画や取り組みにおいて、実際はどうするのかと思う部分があるため、自立支援協議会や各部会が方針をしっかりと理解し、検討し、各事業所や市民に伝えられるようにすべき
	3	加賀	障がい児福祉計画の取り組みにより支援が提供され、特別支援学校の教職員の質、熱心な指導により高等部卒業後の進路・就職活動企業との連絡、障がい児・者の福祉計画がとてもよくまとめられていると思う。 身体障がい等、自分の意見を表現できる人達に理解や配慮をすること、ヘルプマークの啓発活動や施設のバリアフリー化により、市民の福祉意識の高まりとともに、障がい者が暮らしやすいまちづくりの素案になっている。
	4	加賀	子どもの頃から適切な支援をされてきている障がいのある人達は、自分に合った仕事であれば戦力になってくれる。 一方で、学歴等はあるが自分に合った仕事を見つけられず、職を変えてばかりいる人もいる。 自立支援の制度を利用している人は、自分でも一般就労に向けて不安を感じ、将来に向けて訓練を受け、支援を受けながら社会で暮らす道を確認できていくと思うが、自分の障がいを受けとめることができず、就職先を求めている人もいる。 市民の方が障がい特性を理解して、障がいのある人達が生活しやすい岡崎となり、障がい者の自立に向けた基本計画になっていると思う。
	5	西脇	現状までの各計画については、障がい者でも軽症の方の対応ではないかと思う。 提案として「アウトリーチ事業」について、市ならびに保健所の援助により、病院(医師)、グループホーム、事業所等が一体となり、重症患者ならびにひきこもり当事者の回復をさせる体制を作してほしい。
6	基本目標Ⅰ	高橋	成果指標「差別を感じたことのある障がい者の割合」について、目標値が児と者で違うのは人数割合のためか。
7	基本目標Ⅲ	高橋	福祉総合相談窓口の設置について、令和3年度からであるが、多職種が連携できる環境づくりを目指してほしいと思う。
8		三浦(宏)	重点施策の位置づけについて 基本目標の項目の中で、「重点施策」が一番上にあるが、それはその目標の施策の一部が「重点」として抜き出されたものとなっている。 基本目標の全体の説明がされずに一部を抜き出した「重点施策」が挙げられていて、基本目標の全体像をとらえる妨げになっているように感じた。 特に基本目標Ⅱにおいて気になった。 7月の資料では、「基本目標」、「施策体系」、「重点施策」の順番で、「施策体系」の施策から「重点施策」が選ばれていることが分かりやすかった。
9	基本目標Ⅱ	三浦(宏)	成果目標「働きたいと思う障がい者の割合」について ・※2の説明では、障がい児ではなく障がい者を対象とするアンケートからの数値目標であるが、「重点目標 障がい児支援の充実」の成果目標なのか。 ・「働きたいと思う」ことは、障がい児者全体に適用される目標か。重度の障がい児者、高齢の障がい者にとっては、必ずしも適用しなくてよい・適用すべきでない事項かと思われる、成果目標とはしない方がいいと思う。
10	基本目標Ⅱ	三浦(宏)	主な取り組み 施策番号7について 「こんにちは赤ちゃん訪問の実施」が挙げられているが、当該時点で「障がいに関する情報提供や助言」をするケースはごく稀ではないか。この取り組みは削った方がいいのではないか。

	NO		意見
第5次障がい者基本計画	11	三浦(宏)	<p>施策の基本方針について 基本目標Ⅰ「思いやり」が社会環境に関する目標、基本目標Ⅱ「つながりあい」が障がい児者個人個人と社会環境との間の関係に関する目標、基本目標Ⅲ「自分らしく生きる」が障がい児者個人個人に関する目標、というように整理できると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑥安全・安心な地域づくり 地域づくりに関しては、基本目標Ⅰの方がしっくりくるように思う。</li> <li>・③子どもの力の育成 施策の基本方針には、子どもの発達保障を中心として当人である子どもに焦点が当たっている内容がある。「つながりあい」の内容も含まれているので整理をした上でとなるが、施策7・8の早期療育、施策9・10の適切な教育の提供については、⑦との入れ替えで、基本目標Ⅲに移す方がしっくりくるように思う。</li> <li>・⑦生活の質の維持向上 基本目標Ⅲをどう整理するかということで変わってくるかとは思いますが、「⑦生活の質の維持向上」の施策内容は、障がい児者を支援する「周囲」に関する内容であるため、基本目標Ⅱの方がしっくりくるように思われる。</li> </ul>
	12	基本目標Ⅲ 三浦(博)	<p>「切れ目のない相談支援」の重点施策に関する成果指標「サービス等利用計画等作成率」について、現状79.9%→令和8年度までに85%以上という目標になっている。しかし、同計画施策の基本方針には「相談支援体制の充実」の中に、サービス等利用計画の作成率増加に向けた内容が記載されていない。 「相談支援体制の充実」は重要であるが、サービス等利用計画等作成率を達成するためには、何が必要になってくるのか、その検証をしっかりと行い、目標達成に向けた具体的取組をしてもらいたい。相談支援専門員の増員など、具体的な取り組みにつなげてもらいたい。</p>
	13	三浦(博)	<p>第4次岡崎市障がい者基本計画の重点施策であった「グループホームの充実」がなくなっているが、岡崎市としての見解を伺いたい。 共同生活援助(日中サービス支援型)が充実する中、共同生活援助の設置数としては充足したという結論になるのか。</p>
	14	基本目標Ⅰ 杉浦	<p>施策12について 年に1回リブラにて障がい者作品展が開かれているが、障がい者という名前ではなく、アート作品の名前を変えてみては。素晴らしいアート作品を見て感動していただいて、それが障がいを持った人が作っているのだという、入口を変えてみては。</p>
	15	基本目標Ⅰ 杉浦	<p>施策15について ふれあいショップがもう10年以上開催されていることはありがたいが、そろそろ東庁舎入口フロアの一角等、もっと市民に応援していただける場所への変更をお願いしたい。</p>
	16	基本目標Ⅱ 杉浦	<p>施策19について 相談支援は仕事量のわりに報酬が少なく、現状赤字である。話し相手になってほしい方はいっぱいいる。現状を把握し、改善してほしい。</p>
	17	基本目標Ⅲ 神谷	<p>「施策22 居住の場への支援の充実」について 市内にグループホームの整備等が進められているが、車椅子でも生活しやすい居住の場が一層増えていくと、地域での自立と社会参加がしやすくなると思う。</p>
	18	基本目標Ⅰ 山田	<p>重点施策「障がい者への理解の啓発と配慮の促進」 施策1 理解の啓発と配慮の促進 施策2 福祉教育の推進 この2点について、市民に限定せず、行政機関等へも広く啓発・配慮の促進をすることを望む。</p>

NO			意見
19	基本目標Ⅰ	杉木	基本方針②(施策4)、主な取り組み4・5について バリアフリー化についての言及中心に述べられているが、合理的配慮の推進も併せて記述されるといいと思う。合理的配慮を進めるのは、公的機関や事業者だが、市の計画に盛り込まれているといい。
20	基本目標Ⅱ	杉木	基本方針③ 施策9・10について 文章がほとんど同じに見えるところがあり、気になった。「教職員の資質向上を図る」から「取り組む」まで、趣旨からいって同じことになるのかもしれないが、施策9と10に分けているので、表現を工夫した方がいいと思う。特に10の特別支援教育推進体制の確立については、別の表現がいいのではないかな。
21	基本目標Ⅲ	杉木	基本方針⑦ 施策23について 後半の具体的な記述は、視覚障がい・聴覚障がいを意識し、点訳・音訳、手話通訳等が挙げられている。それは大切なことだが、今はこの方面でデジタル化がかなり進み、他の障がいでも取り組まれている。「デジタル化の対応」も盛り込まれたら、今後を見通した提言となるのではないかなと思う。
22	基本目標Ⅲ	杉木	基本方針⑦(施策24)、主な取り組み24について 権利擁護が入っていることはありがたいことだと思うが、「成年後見制度」と「虐待防止」中心に書かれている。それも大切だが、自立支援協議会の権利擁護支援専門部会は両方とも取り組んでいないため気になる。専門部会の取り組みも参考にするか、逆に専門部会に取り組むように提言するのか、そのあたりを検討してほしい。
23	基本目標Ⅱ	柴田	基本方針⑥(施策17)、主な取り組み17について 福祉会館内にあるボランティア連絡協議会が、来年度から美合町に移転することになり、①場所が遠くなること ②交通の便が悪い 等から、ボランティア団体相互の連携に弊害を生じさせることになった。 私もボランティア連絡協議会に所属するボランティア団体に属しているが、会員の中には「場所も遠くなり、バスもあまり走っていないから不便だから退会しよう」という方もいる。他のボランティア団体でも、「ボランティアセンターが不便になるから退会する」という声があちこちで挙がっている。 今まで障がい者のために、いろいろと一生懸命にやってこられたボランティアの方々が辞めていってしまうという現状を岡崎市の主管課では知っているのか。この現状では「障がい者支援のボランティア育成」などできないと思う。 これまで、岡崎市の障がい者・児のために一生懸命ボランティアをされてきた方々が高齢化している状況を考えると、場所・交通の便が悪くなることは「ボランティアを続けることができない」ことになるといえる。 市側は 基本方針→目標→取り組み と考えているだけで、本当に現実を理解しているのだろうかと疑問に思ってしまう。理解しなければ、配慮はできない。
24	基本目標Ⅱ	柴田	基本方針⑥(施策18)、主な取り組み18について 地域の避難訓練への障がい者の参加を促し、関係機関が連携し、緊急時の情報の伝達や避難誘導、福祉避難所の設置などの救助体制の充実を図りますとあるが、地域の避難訓練に参加できない障がい者(精神的・身体的理由)の人々はどうするのか。 個別に避難訓練を実施することができない場合に、防災課、保健所がタイアップして実施するのか、防災のボランティア団体に依頼して実施を手伝ってもらうのか、その点はいかにするのかと、重要な問題がいっぱいあるような気がする。 さらに、緊急時の情報伝達はできて避難誘導できないことが考えられるが、これについては救助対策の充実を図る必要がある。 この様な点について、具体的にどのように支援制度の充実をさせるのかという取り組みを聞かせてほしい。
25		渡邊	目標を達成するために、施策とその取り組みが数多く実施されていることがわかり安心した。基本目標Ⅰの主な取り組みの中で障がい者理解に関するものがあるが、もっと交流の場が増えれば自然に理解も深まるし、成果指標の手助け等したことのある人の割合も上がると思う。 身近なところで、市民講座は抽選になるほど人気で、文化的な活動に興味のある人がたくさん集まっている。そこで一定の割合で障がい者も一緒に活動するのは難しいのか。友愛の家では障がい者を対象にしたスポーツや文化講座が開催されているようだが、それを工夫して交流の機会が増えたらいいのにとと思う。

	NO		意見
第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画	26	高橋	1. (2)地域生活支援拠点については今後検討していく必要がある。
	27	高橋	1. (3)「令和5年度の一般就労への移行者数の7割が就労定着支援事業を利用することを基本とする。」とあるが、7割とした理由はあるか。
	28	三浦(博)	第6期岡崎市障がい福祉計画では、地域移行支援のサービスの見込み量が大きく減少している。前計画まで目標とされていた「1事業所年間1人以上の地域移行に取り組むこと」が削除された経過を教えてください。
	29	三浦(博)	2. (2)地域生活支援事業の事業の見込量について、「相談支援」の項目が具体的な事業所設置数が記載されていない。前計画では事業所数が記載されていたが、目標数値など記載することはできないか。
	30	高須	1. (3)「福祉施設から一般就労への移行等」について、ハローワークの業務に関係すると思われる。 ハローワークにも障がい者の就職件数の目標値がある。また、就労移行支援事業所と連携して就職への支援も行っている。さらに、今年度は雇用率の引上げも予定されている。 障がい者への支援を丁寧に行い、少しでも目標に近づけられればと思う。
	31	佐藤	2. (1)障がい福祉サービスの見込量について 生活介護の対象生徒は増えてきており、見込量は本校の生徒の進路希望より低く見込まれている。R5には岡特とみあい特支だけでも見込量をオーバーしてしまうと思われる。B型を増加の傾向にするのであれば、生活介護、短期入所(福祉型)も増加とするべきではないか。 施設入所の横ばいも現在MAXであり利用できないので、表現を変えるほうがいい。
	32	佐藤	2. (3) 医療的ケア児コーディネーターは2人とあるが、既に設置しているのか。 また、医ケア児等に対応する看護職員確保のための体制構築の取り組みについても、障がい児通所支援の提供体制の整備等のところで触れてもらいたい。
	33	神谷	2. (2)地域生活支援事業 事業の見込量等について 必須事業に挙げられている成年後見制度利用支援、成年後見制度法人後見支援については、障がいのあるお子さんが在学中から関心を持たれている方もいる。制度について知る機会があるといいと思う。
	34	渡邊	町内会等も協力して、国の基本方針→岡崎市の目標が無理せず達成できるように、地域に根ざした活動が進むことを期待する。
	その他	35	骨子案(R2.7配布) 三浦(宏)
36		杉浦	グループホームに民間企業が入ってきている。グループホームが少ない岡崎市にとってはありがたいことだが、運営の仕方に少し疑問がある。実費(食費・光熱水費)部分に精算がなく、年金2級の方は生活保護ありきの金額になっている。それはいかがなものかと思うが……。 余談で、知り合いのお母さんへ「グループホームへは入れないの」と聞いたところ、「うん、私が逝くときは連れていく」と言っていて、ショックだった。私たちはまだまだなのだと思知らされた。「誰もがみんな笑顔になれる街 岡崎」を目指したいと思う。